

スーパーサーモ

71℃開弁ローテンプ サーモスタット

この度は、ビリオン スーパーサーモをお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品は、開弁温度を71℃に設定し（ノーマル82℃）、スポーツ走行等の過酷な環境でのエンジン使用に対して、エンジン内の水温が上昇しきってしまう前に冷却水を積極的に循環させ、熱ダレによるパワーダウンを低減します。
従来のスーパーサーモより開弁温度を6℃高めに設定しておりますので、水温が上昇しにくい冬季の使用や、ラジエーターキャパシティーを大きくされておりオートチョークの作動時間が長い場合に最適です。また、ヒーターの効率低下も最低限に防ぎます。

【品番】

BST-W05A

【適応エンジン】

TOYOTA
4A-G AE-86

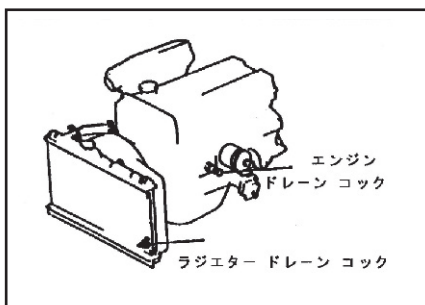
【取り付け上のご注意】～必ず本取扱説明書を参照して作業を行ってください～

- 水温が高い状態での作業は絶対にしないでください。
- 取付後、冷却水のエア抜きを十分に行い、最低30分間はアイドリングし、水温の上昇にともない冷却水が循環しているか確認して下さい。
また、このときの水温が適正であることを必ず確認して下さい。

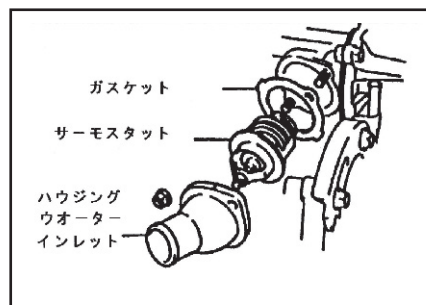
【取付方法】

（サーモスタットはロアーホースのエンジン側にあります。）

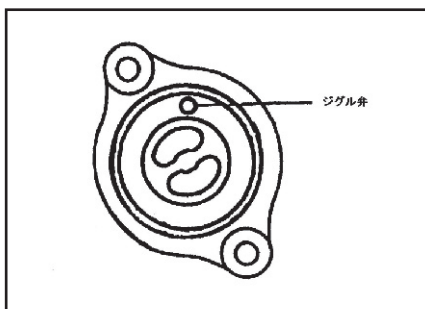
1. バッテリーマイナス端子を取り外す。
2. 冷却水をラジエーター・ドレーンプラグから抜き取る。（図1参照）
3. ラジエーターロアーホースをエンジン側で外す。
4. ナット2個を外し、ウォーターインレットハウジングを外す。
5. 装着されていたサーモスタットを取り外し、ハウジング並びにシリンダーブロックの取付面に付着した古いガスケットをスクレッパー等できれいに剥がし、掃除する。
6. スーパーサーモを付属のガスケットを使用して組み付ける。（図2参照）
7. ジグル弁を必ず上に向けて（図3参照）組み付け、ハウジング取付面に異物の付着が無いことを確認する。
8. スーパーサーモがウォーターインレットハウジングの凹部に完全にはまっていることを確認する。締めつけトルクは 1.00Kg-cm です。
9. ラジエーターアッパーホースを取り付ける。この時、クランプはフロント方向に組み付ける。（図4参照）
10. ラジエーター・ドレーンプラグ、シリンダーブロック・ドレーンプラグを締め、冷却水を注入する。
11. エンジンを始動し、冷却水の漏れがないか点検する。（ヒーターをMAX HOTに設定して下さい。）
12. 最低30分以上はアイドリングさせ、エア抜きを行い、再度、冷却水量を点検し、不足していれば、補充する。（取付後も定期的に行ってください。）
13. 交換して1週間以内に再度水量をチェックする。（定期的に行ってください。）



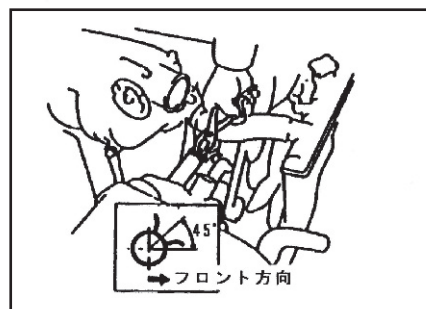
（図 1）



（図 2）



（図 3）



（図 4）

発売元 株式会社ミノルインターナショナル

東京都町田市鶴間 512-3

お問合せ 04-2788-7878(東京営業所)